

平成25年度 埼玉県立熊谷高等学校「第2回学校評価懇話会」議事概要

1 日時 平成26年2月20日(木) 15:20~16:20

2 会場 くぬぎ会館2階

3 次第 (1) 開会

(2) 校長挨拶

(3) 出席者自己紹介

(4) 説明

① 本年度の教育活動報告

ア 全日制・・・学校自己評価システムシート

イ 定時制・・・学校自己評価システムシート

(5) 意見交換

①本年度の取組について

ア 全日制

イ 定時制

②その他

(6) 諸連絡

(7) 閉会

4 意見交換の概要 (◎=評議員、△=生徒、○=学校)

(1) 本年度の取組等について

〈全日制〉

△学校説明会でも使用している熊谷会館が閉館になる。このことについて、学校として、生徒としてできることがあるのか。また、閉館後の学校説明会に関してどうするのか。

◎熊谷会館の閉館は残念だ。

○閉館は県の方針。驚いている。

△芸術鑑賞等、学校行事にも影響する。

○閉館しないようにと県への働きかけはするが、学校の施設の整備を要求していく方向も考えられる。

◎熊谷会館以外にも様々な施設がある。発想を変えて他の施設を使用することも考えていってほしい。

△図書館延長はありがたい。早朝登校した場合、時々2・3Fの鍵が開いていない。もう少し早く開いているとありがたい。

△部活の頑張りが外部にどう伝わっているか気がかりだ。中学生は知っているだろうか。

◎PR方法に工夫の余地があれば検討してみるのも良い。同世代や中学生は知っているのではないか。

◎自分自身は、あまり知らない。

◎音楽部OBなので音楽部に関しては知っている。自治会などの利用はできないのか。外へ出でのPR活動、中学校への出前活動は文化部・運動部ともできるのではないかな。

△熊高ゼミ発表会では、もう少し多くの発表を聞ける時間が欲しかった。

◎通学の自転車マナーについて危機的状況と考えている。生徒たちはどう自覚しているのか。駅からの自転車利用は考え直すべきではないか。スクール・バスはどうなのか。

△自転車については校外・校内問わずマナーに問題があると考えている。働き掛けもしている。駅からの利用の見直しもしかたがないかもしれない。

◎2.5キロ以内は利用禁止など、ルールを設けるのも一つの案だろう。歩いてゆっくり時間をかけることも価値のあることだ。

◎大きな事故があれば取り返しのつかないことになるので全員に自覚を持ってほしい。

◎教えられるだけでなく、教え合うことで効果が上がると思う。生徒同士で教え合う場があるといい。

△放課後の教室では教え合う姿がある。

△質問は友達にすることはよくあるが1対1で、人数は増えて何人かで教え合うことはない。

◎議論を戦わせることで鍛えられ、成長するもの。

○最近の授業では協調学習を取り入れて授業の中で行っている先生もいる。

△先日の大雪の対応、熊高は判断が遅すぎる。

○携帯電話の連絡システムへの登録を呼びかけたい。

△電話での連絡網も使ってほしい。

◎生徒の間でも情報網の作成ができるのではないかな。